

# 県東地域独自の 成長戦略策定を目指します



加速度的に進む少子化に対応できる地域をつくるため、それぞれの分野で目指すべき方向性を具体的に示します。

そして

関係・交流人口を増加させ、産業が集積している立地性等の強みを活かして、移住・定住に繋げ、愛着が持ち続けられる、そして成長し続ける地域を目指します。



## 最大の課題である物価高騰対策について

- これまで国の物価高騰対策に合わせて、県においても医療機関や事業所、また生活困窮者や住民税非課税世帯を中心に、電気・ガス料金や、食料品等への支援を行ってきました。今後も先行きが見通せないため、補正予算等で機動的に支援を継続していきます。
- 国においても3月中旬にも新たな物価高騰対策が取りまとめられるようでありますので、それに呼応して、県においてもエネルギー高騰や食料品、飼料や肥料の高騰に対する支援を行えるよう提案していきます。
- 併せて、今回の教訓を踏まえ、国と同様に、様々な原材料の輸入依存度を緩和する施策を展開し、生活における安全保障の強化を進めます。

石坂まさる後援会事務所

真岡市台町13-4

TEL:0285-81-7595 FAX:0285-81-7596

討議資料



ホームページ



Facebook



Instagram

# 01. 防犯・見守り体制の強化

闇バイト等による広域強盗や、学校での切り付け事犯等、犯罪傾向が凶悪化しています。子どもや、高齢者の見守り体制強化を含め、防犯カメラの増設やデジタル技術をフル活用し、総合的な防犯・見守り体制を構築し、安心な地域づくりを進めます。



# 02. 栃木県誕生150年

今年が栃木県が誕生して150年目という大きな節目の年を迎えます。内外に向けた様々な取組みを展開し、栃木県の魅力の発信を進め「栃木ファン」の拡大をすすめるとともに、子供たちに向けた様々な取組みを通し、栃木県への愛着の醸成に繋がります。

栃木県150周年  
特設サイト



# 03. 若者が集まる栃木を目指して

昨年12月に本会議で質問させて頂いた、「とちぎ職業人材カレッジ」が今年からスタートします。「なりたい自分になれる」をコンセプトに、技能習得から就職までを一貫して支援する仕組みを構築し、起業支援や創業支援等の充実と併せて、魅力ある就業環境を整備し、県内外から様々な人材が集まる栃木を創ります。



# 04. 関係・交流人口の拡大に向けて

「日本一のいちごの産地」を最大限に生かして、交流人口の拡大を図る「いい・いちごの郷づくり」をスタートします。

芳賀郡市内のいちご関連施設の利用者数

年間 5.1万人 → 令和7年に11.5万人に拡大

既存の観光資源や、歴史的文化財、また地場産業との連携を図り、地域全体に波及する戦略的な観光誘客を展開します。



# 05. 優しく便利なデジタル化を目指して

身近な困りごとを便利に解決していける「デジタル先進県」を目指し、現在展開している「栃木デジタルハブ」等の運用を更に拡充し、誰もがデジタル化の恩恵によって利便性が向上する仕組みを構築します。



# 06. 県立高校再編に向けた取組について

現在栃木県の人口は

15歳～19歳 86,711人

0歳～4歳 60,595人

20歳未満の人口を比較しただけでも2万6千人が減少します。また、そのような社会変化に伴い、令和16年までに県立高校の95クラスが削減されることとなります。再編については様々な意見があるとは思いますが、一番重要な視点はこれから高校に通う子供たちにとって最適な環境を整備することです。全国のモデルになるような学校をこの地域につくられるよう、県立高校の第3期再編計画を推進します。

